



令和2年9月定例会は、8月27日(木)から9月25日(金)までの30日間にわたって開かれました。  
今定例会では、市長から提出された報告2件、議案19件を審議しました。



## 和光市のこんなことが決まりました 9月定例会の主な議案

### 和光市税条例の一部を改正します

#### ■ 議案第66号 和光市税条例の一部を改正する条例を定めることについて【原案可決】

【目的】地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、所要の改正を行うものです。

○主な内容

##### ●固定資産税

固定資産を現に所有している者(相続人等)の申告の制度化

##### ●個人市民税

- (1)個人住民税の人的非課税措置(未婚のひとり親を含めた「ひとり親」を対象に加えました。)
- (2)新型コロナウイルス感染症等に係る寄附金税額控除の特例
- (3)新型コロナウイルス感染症等に係る住宅借入金等特別税額控除の特例(控除期間を13年間に延長している特例措置の適用期限を、さらに1年延長するものです。)

##### ●軽自動車税

軽自動車税の環境性能割の税率の特例(軽自動車税の環境性能割の税率を1%分減額とする特例措置を令和3年3月31日まで延長します。)

### 元職員に対する損害賠償請求事件に関し訴えを提起します

#### ■ 議案第81号 訴えの提起について【原案可決】

【事件の内容及び請求の趣旨】

国から平成21年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金4500万円の交付決定を受け、本交付金を財源として、交付金対象事業者に対して、平成21年度地域密着型サービス拠点整備補助金4500万円を交付しました。

その後、会計検査院から本交付金が交付要件を満たしていない旨を指摘され、平成26年6月に国へ、本交付金4500万円に加算金1111万500円を加えた5611万500円を返還しました。

令和2年2月に実施した調査において元職員が、本交付金の申請等に関し、不適切な指示等を行った可能性があることが判明したため、市が国に返還した5611万500円に弁護士費用相当額561万1050円を加えた損害賠償金6172万1550円及び訴訟費用の負担を求めます。

○損害賠償請求事件に関する取扱い

- 弁護士を代理人に選任し、訴訟を遂行します。
- 訴訟において損害賠償請求が容認されないときは、上訴するものとします。
- 訴訟遂行上の過程において必要がある場合は、適当と認める条件で和解することができます。

### 令和2年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第4号)【原案可決】

一般会計では、歳入歳出予算の総額にそれぞれ16億7463万8千円を追加し、それぞれ総額を394億6492万8千円とする案を原案のとおり可決しました。

#### 歳出の主な内容

- がけ地近接等危険住宅除却事業補助金 ..... 97万5千円
- 自動運転実装事業計画策定業務委託料(和光版Maas構想※1) ..... 500万円
- スクール・サポート・スタッフ報酬(12人) ..... 520万8千円
- 小学校(GIGAスクール構想実現※2) 事務機器等借上料(タブレット端末) ..... 3776万3千円
- 中学校(GIGAスクール構想実現) 教材用備品(タブレット端末) ..... 2億3167万円

会計名	補正額	補正後の金額	
一般会計	16億7463万8千円	394億6492万8千円	
特別会計	国民健康保険	2億3188万4千円	64億7229万8千円
	後期高齢者医療	164万7千円	7億7279万円
	介護保険	7367万3千円	37億5597万4千円
	和光市駅北口土地区画整理事業	1309万7千円	10億876万円

## 令和2年第1回臨時会

令和2年7月29日(水)に第1回臨時会が開催され、市長から提出された議案2件を審議しました。



### ■ 議案第62号

#### 令和2年度埼玉県和光市一般会計補正予算(専決第4号※)【承認】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1258万3千円を追加し、新型コロナウイルス感染症対策として、ひとり親世帯臨時特別給付金、生活困窮者自立促進支援等に係る経費と財源を補正したものです。

### ■ 議案第63号

#### 令和2年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第3号)【原案可決】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7814万3千円を追加し、新型コロナウイルス感染症対策の子育て応援特別給付金として、国の特別定額給付金の対象とならない令和2年4月28日～令和3年4月1日までに生まれた新生児に対し、市独自事業として10万円を支給するための経費と財源を追加計上したものです。



#### ※専決処分とは

議会が議決をしなければならない条例・予算などについて、市長が議会を招集する時間がない緊急の場合、市長が議会に代わって処理を行うこと。ただし、次の議会で報告し承認を求めする必要があります。

### 令和元年度各会計決算を認定

令和元年度各会計における決算は、各常任委員会で9月3日から14日までの間、委員会に付託された議案とあわせて審査を行いました。

令和元年度一般会計決算額は、歳入総額294億3765万9233円(前年度比6.4%増)、歳出総額275億3252万4505円(前年度比5.8%増)となっています。

審査の結果、一般会計を初め、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険及び和光市駅北口土地区画整理事業特別会計の歳入歳出決算並びに水道事業及び下水道事業決算を認定しました。

水道事業においては、未処分利益剰余金2億193万693円を、下水道事業においては、1億6740万3747円を資本金へ組み入れるための剰余金の処分について、それぞれ原案のとおり可決しました。

なお、各常任委員会における主な審査内容は、9ページをご覧ください。

#### 令和元年度各会計決算額

会計名	歳入	歳出	
一般会計	294億3765万9233円	275億3252万4505円	
特別会計	国民健康保険	66億6018万2748円	63億8738万256円
	後期高齢者医療	7億930万4506円	7億765万6699円
	介護保険	37億3316万7444円	36億6553万6552円
	和光市駅北口土地区画整理事業	8億2030万2012円	6億7160万9127円
会計名	収入	支出	
水道事業会計	収益的	14億7259万1515円	12億7516万7833円
	資本的	549万6199円	5億3505万6224円
下水道事業会計	収益的	11億9057万379円	10億4057万3602円
	資本的	1億5051万5530円	5億6309万3007円

### 元和光市職員の 不祥事に関する 調査特別委員会

- 委員長 安保友博(緑風会)  
副委員長 待鳥美光(新しい風・希望)  
委員 富澤勝広(緑風会)、猪原陽輔(新しい風・希望)、齊藤克己(公明党)、富澤啓二(公明党)、熊谷二郎(日本共産党)、金井伸夫(まちづくり市民の会)、松永靖恵(やさしい未来の会)

元和光市幹部職員の不祥事に関し、議会として市民に対する説明責任を果たすため、元和光市職員の不祥事に関する調査特別委員会を設置しました。事件の背景や人事管理、内部統制、公金の管理、公益通報制度等の調査を行い、原因の究明と再発防止に向けた方策を市に提言することを目的とします。





問 コロナ対応の避難所運営訓練は、いつ、どのように行うのか



内山恵子  
(緑風会)

質問▶新型コロナウイルス感染症予防を考慮した避難所運営訓練の市民向け啓発が早急に必要であると思われる。訓練はいつ、どのように行うのか。

危機管理室長▶来年度の和光市地域防災訓練を予定しています。避難所に配備されている資器材やマニュアルを用いて、自主防災組織をはじめ、参加者の方々に実際に使って訓練していただきます。

その他の質問事項▶地域コミュニティ

問 中程度以上の障害児や医療的ケア児の保育体制の拡充を



小嶋智子  
(歩みの会)

質問▶障害児の保育において、中程度以上の障害がある場合や医療的ケア児、また人材の確保ができないなど、市で対応ができていない部分を近隣の自治体や民間の事業者などと連携して保育体制を整えることはできないか。

子どもあんしん部長▶市外の施設の利用を促すことは十分に検討して進めるべき部分です。選択肢としての検討は可能ですが様々な課題があり見守っていただきたいと思います。

その他の質問事項▶新型コロナウイルス感染症対策

問 新型コロナウイルス感染対策 PCR検査体制を拡充し早期検査・発見・治療の体制を



赤松祐造  
(まちづくり市民の会)

質問▶新型コロナウイルスは早期の検査、治療で重症化を防げる。インフルエンザが流行する秋冬は検査所の拡充が必要だ。土日祝日検査も必要と考えるが市の取組を問う。

保健福祉部長▶現在、PCR検査は1日100人程度が可能、医療機関も7箇所を増えました。土曜検査も想定しています。市も積極的に支援します。

その他の質問事項▶市幹部職員の不祥事事件、緑地保全計画の見直し、地域公共交通会議、北原小通学路安全対策、障害者自立支援

問 交通弱者の喫緊の課題への対処を問う



待鳥美光  
(新しい風・希望)

質問▶MaaS活用にはまだ時間がかかる。移動手段の空白地解消を図り、交通弱者の移動を保障する喫緊の課題にどう対処するのか。

建設部長▶地域公共交通会議を早期に立ち上げることを大前提として、高齢化に伴う喫緊の課題に対応するため、既存の公共交通、市内循環バスや民間路線バスのルートやダイヤを見直すことを最優先に取り組んでいきます。

その他の質問事項▶会計年度任用職員制度の運用、防犯対策、福祉と教育の連携

問 事業の緊急度・優先度を精査し持続可能な行財政運営の推進を



富澤啓二  
(公明党)

質問▶コロナ禍の影響から厳しい財政状況が当面続く見通しから、事業全般の緊急度・優先度を改めて精査し慎重な財政運営の必要があると考えるが対応を問う。

企画部長▶来年度の市税は経済活動の縮小に伴う個人市民税の大幅な減少により財政状況は厳しくなると考えます。状況を踏まえて次期行政改革推進計画等の検討を進めます。

その他の質問事項▶新型コロナウイルス対策、内水氾濫、内水ハザードマップ、上下水道

問 (仮称)和光北インター東部地区区画整理事業の進捗状況



齊藤誠  
(緑風会)

質問▶令和2年度末の区画整理事業認可を目指して進める予定だが、進捗状況を問う。

建設部長▶市は土地区画整理組合設立準備会と連携を図りながら、事業認可に向けた事業検討や関係機関協議を鋭意進め、地権者の意向を十分に踏まえた事業計画作成に必要な期間を確保するため、令和3年度末までに事業認可取得を目指すことといたしました。

その他の質問事項▶ごみ分別アプリ、防災無線、自動運転サービス導入の事業化

問 近隣自治体と行政区域をまたぐ循環バスの共同運行の検討を



猪原陽輔  
(新しい風・希望)

質問▶循環バスは一般的には各自治体ごとに運行しているが、他市で共同運行している事例がある。和光市でも検討できないか。

建設部長▶まずは喫緊の課題である交通不便地域の解消等の解決に向けて取り組みを進めていきますが、将来においては乗り入れの可能性を探っていきたく考えています。

その他の質問事項▶地域公共交通、ケアラー支援、和光市公式LINEアカウント、教育行政、「スーパーシティ」構想

問 学校教育での対面学習や動画教材活用などでの効果的取り組みを



菅原満  
(新しい風・希望)

質問▶ICT機器活用<sup>※3</sup>での学習、動画教材の選択、対面とオンラインでの授業の組合せ、学習効果の測定などへの取り組みを問う。

教育長▶ICT機器整備は、教育そのものに大きな転換点を迎える。AIやビッグデータ活用などでの学習効果測定への期待とともに、これまでの友達と関わり合う学習での教育効果もあり、オンライン教育とリアル教育の効果とバランスを見極め、具体的検討を進めていきます。

その他の質問事項▶住居確保給付金の状況、新型コロナウイルスに係る事業者支援の活用状況と課題

問 図書館に、子供から高齢者まで利用しやすい電子書籍の導入を



伊藤妙子  
(公明党)

質問▶電子書籍は、スマートフォンやパソコンから24時間、どこからでも申し込み、自動返却されるため返却忘れの心配がない。図書館まで出向くことが困難な高齢者が自宅に居ながら借りられる電子書籍の導入の考えは。

教育部長▶新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも早急な情報収集を行い、可及的速やかな導入に向けて検討してまいります。

その他の質問事項▶広沢複合施設、高齢者、障がい者の安心な暮らし、女性のがん対策

問 和光市の介護認定率が他市と比べて低い理由を問う



安保友博  
(緑風会)

質問▶元保健福祉部長の不祥事発覚を機に状況も変わったかもしれないが、改めて、和光市の介護認定について現状を問う。

保健福祉部長▶令和2年3月末時点で10.51%と全国平均18.5%を大きく下回っています。高齢者のニーズを把握し、高齢者の自立と生活の質を向上できるよう、自立支援の観点からケアプランを充実させています。

その他の質問事項▶学校施設整備、元職員の不祥事、職員人事

問 児童発達支援センター連携診療所(クリニック)の概要と方向性は



松永靖恵  
(やさしい未来の会)

質問▶児童発達支援センター連携診療所の概要と役割、児童発達支援施策を効果的に推進する為、医師の意向をどう反映させるか。

保健福祉部長▶診察科目は小児科で発達障害の診察を行い、専門医の紹介や支援の提案をする。診療所と保健センター、児童発達支援センターの緊密な連携は重要で、協議体の設置など体制の構築を進めます。

その他の質問事項▶特別の教科道徳、医療従事者登録制度、避難行動要支援者個別計画

問 コロナ禍の影響に対応する財政運営を



萩原圭一  
(和光市民の会)

質問▶コロナ禍の影響に対応する財政運営について、市長のお考えは。

市長▶市民の安心・安全の確保や地域経済の支援に取り組んできたが、コロナ禍で市税収入の減少や社会保障関係経費の増加が見込まれる。例えば要介護1の方が増えているのは緊急事態宣言等の影響だと思う。新たな行政需要もあり、歳入も歳出も厳しくなる。今は平時でない前提で厳しい視点で予算編成していく。また、不交付団体なので財政力指数が1まで下がるところは補償がないし、臨時交付金も厳しい配分。財政に対して慎重な姿勢を持ち続けます。



## ※用語解説

- ※1 **Maas構想** 運営主体を問わず通信技術の活用により、マイカー以外の交通手段による移動を1サービスとして捉えシームレスにつなぐ新たな移動手段の概念。
- ※2 **GIGA(ギガ)スクール構想** 児童生徒向けの一人一台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された創造性を育む教育を全国の学校現場で持続的に実現させる構想。
- ※3 **ICT機器** ICT機器とは一般にパソコン、プロジェクタ、デジタルカメラ等の情報機器のこと。

### 問 IT国家を目的に制定されたIT基本法における地方の役割分担は

#### 金井伸夫

(まちづくり市民の会)

**質問**▶19年前に最先端のIT国家をめざして制定されたIT基本法だが、コロナ対応では全く機能せず諸外国と比べ行政のデジタル化の遅れが際立った。IT基本法にもとづく市の重点計画及び施策を問う。

**総務部長**▶重点計画等については特段策定していませんが、第四次和光市総合振興計画に電子市役所の推進を定め、実施計画における取組を重点計画等として行ってきました。

**その他の質問事項**▶交通安全、職員評価、産業振興

### 問 認知症ケアパスと認知症支援ガイドブックの作成を

#### 齊藤克己

(公明党)

**質問**▶認知症が疑われたとき、早期に相談先を見つけ、適切な医療・介護サービス等を受けられるように、認知症ケアパスと認知症支援ガイドブックを作成するべきではないか。

**保健福祉部長**▶認知症支援ガイドブックの必要性は認識しています。今後、地域包括支援センター、市内事業者の協力を得ながら、作成に向け取り組んでいきます。

**その他の質問事項**▶デジタルガバメント、大雨対策として汚水逆流防止弁の予防的設置を

### 問 コロナ対策地方特別交付金の活用で、公共施設使用料金の軽減を

#### 熊谷二郎

(日本共産党)

**質問**▶公共施設の利用人数が定員の3分の1以下に制約されているが、使用料は現行のまま。参加人数等の理由で大部屋を借りざるを得ず実質的値上げとなる。交付金を活用し軽減策をすべきでは。

**企画部長**▶交付金の交付対象とされておりますが、現時点では使用料の減額免除は予定しておりません。公平性の観点から、応分の負担を求めているものと考えております。

**その他の質問事項**▶コロナ対策支援、高齢者福祉、道路問題、ゴミ処理問題

### 問 返還金の損害賠償請求の是非と市長としての責任は

#### 富澤勝広

(緑風会)

**質問**▶不祥事に対する市長の給料の減額措置等はおこなってきたが、返還金を含め一連の事件・事案に対する最終的な市民に対する説明と市政を預かる市長としての責任は。

**市長**▶事件の全容、原因が明らかになり再発防止策が整った上で明らかにさせていただきます。政治家の責任の取り方は、第三者に指示されて決めるものではなく、自らの判断で決めるものと心得ております。

**その他の質問事項**▶返還金全般

## 常任委員会の審査

常任委員会に付託された議案の主な審査内容を報告します。付託とは、本会議における議案の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会に審査を分割して任せることです。

### 【令和元年度決算審査内容の報告】

#### 総務環境常任委員会 委員長 富澤啓二

**問** マイナンバーカードの普及率を問う。

**答** 令和2年7月31日付けの資料では、交付枚数は1万8030枚、21.78%、交付率は県内で第2位です。

**問** プレミアム付き商品券事業の評価を問う。

**答** 40%程の利用率です。近隣市も同様です。勸奨通知やホームページ、広報等で周知をし、当初は1万1300人の利用者数を想定しておりましたが、申請は6119人でした。

■和光市税条例の一部を改正する条例を定めることについて等議案10件及び陳情4件が付託されました。審議の結果、議案は全て可決、陳情第2号・第3号は趣旨採択、陳情第4号・第5号は不採択となりました。



#### 文教厚生常任委員会 委員長 安保友博

**問** 地域生活支援センターをさつき苑に設置することについての現状を問う。

**答** さつき苑の利用者から理解を得られなかったため、南のセンターの増員で対応しています。北側への設置は、市の施設を検討します。

**問** わこうっこクラブのサポーターの人材確保について、今後の方策を問う。

**答** 人材確保が厳しい中で、来年度以降は学童クラブとわこうっこクラブを一体的な運営をしていく方向で考えています。

■令和2年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第4号)等議案8件及び陳情1件が付託されました。審議の結果、議案は全て可決、陳情は不採択となりました。



## 第五次和光市総合振興計画基本構想を定めることについて 総務環境・文教厚生常任委員会 連合審査会を行いました

総務環境常任委員会 委員長 富澤啓二

将来都市像を「みんなをつなぐワクワクふるさと和光」とし、市民生活をイメージした12個の「市民生活の目標像」を設定。「和光市駅周辺の魅力の向上」「市庁舎周辺の賑わいの創出」「環境に配慮した清掃センターの更新」「地域公共交通の充実」「子どもたちや子育て世代の支援」「高齢化への対応」「和光北インターチェンジ周辺の活性化」「地域コミュニティの再醸成」の8つの基本戦略を掲げ、これらの実現のため49個の個別施策を示しています。第五次和光市総合振興計画基本構想を連合審査会を行い、原案のとおり可決しました。



### 報告

市長から2件の報告があり、受理しました。

- 平成30年度埼玉県和光市水道事業会計予算の継続費の精算報告について【受理】
- 令和元年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について【受理】

### 人事案件

- 和光市教育委員会委員の選任について【同意】  
山田 実氏を任命することに同意しました。

### 意見書

- コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書(案)【原案可決】

### 陳情

- 新倉・下新倉地域への中学校建設に関する陳情【不採択】
- 資産課税の軽減等に関する陳情書【趣旨採択】
- 協和会自治会・一新会自治会地域内に地域センター施設の設置に関する陳情【趣旨採択】
- ウイズコロナ時代に即した第五次和光市総合振興計画(2021-2030)にさせていただくための陳情【不採択】
- 第五次和光市総合振興計画書の豪華版製本印刷中止に関する陳情【不採択】



